

## 平成 27 年度 調査研究実績書

### 1 テーマ名

花き経営体における担い手育成の仕組みづくり

### 2 目的

担い手育成に取り組む経営体の取組み事例から、経営改善効果・人材育成のノウハウ・課題を明らかにし、具体的な改善方法を明確にする。

研修に取り組む者・新規就農を目指す者の状況・意向を参考に、担い手育成モデルを具体化する。

### 3 調査研究の内容

- (1) 県内経営体における実態把握
- (2) 新規就農者を目指す者の意向確認
- (3) 経営者（雇用・研修受入志向）と新規就農を目指す者の情報共有
- (4) 花き経営体における担い手育成について検討

### 4 成果

- (1) H27～経営体を対象とした普及活動により、花き経営体 59 戸の状況・課題・発展方向を把握した（図1）。

栽培上の課題だけでなく、経営体の潜在的な意向（雇用・研修受入・経営移譲等）が明確となった。

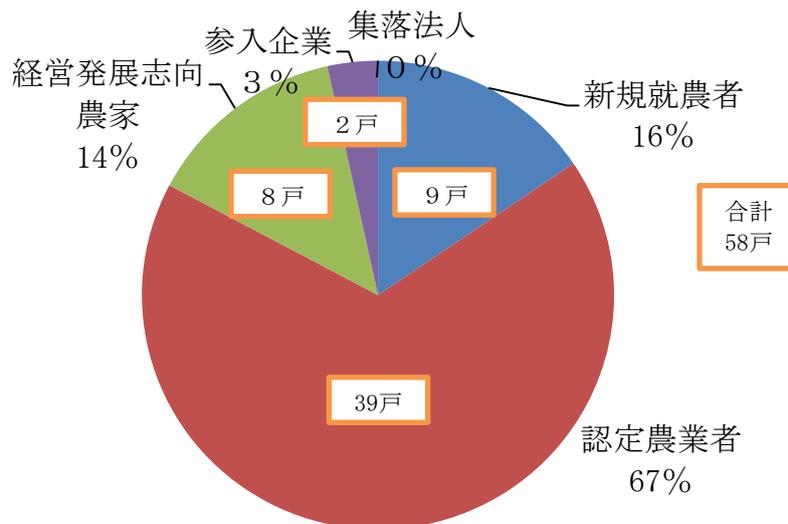


図1 普及対象経営体（H27：花き）

- (2) 研修受入意向のある経営体への農業技術大学校生の研修受入を推進し、研修を通じた経営体・学生の意向確認等、進路決定の支援を行い、大学校生の花き経営体への就職就農が実現した。研修対象以外の大学校生(1年生)へ情報提供を行い、次年度進路決定の支援を行った(図2)。



図2 新規就農を目指す者の意向確認

- (3) H25～調査研究成果(集落法人への花き導入プログラム(H25)、先進事例・経営管理指標(H26))を市場と共有し、今後の方向性を検討した。
- (4) H28～調査研究テーマ候補が具体化した。「花壇苗生産における日射制御型かん水システムによる省力化技術」(兵庫県研究成果事例)による低コスト施設導入による、高品質生産・次代の担い手への経営継承を容易にする可能性を検討する。
- 5 普及指導活動における活用方法
- (1) H27 普及活動での状況把握により、対象経営体の課題・方向性を経営体と共有し、具体の活動・スケジュールを次年度普及計画へ反映した。
- (2) 企画型研修・視察等を活用した普及活動により、対象経営体の普及計画の目標達成を図る。
- (3) 研修受入・雇用意向のある経営体に対し、継続的に受入を支援し、経営発展を目指す。

## 6 留意事項

- (1) 普及対象経営体への支援開始により、状況・課題把握、方向性が具体化してきた。先進事例・研究成果等を活用して課題解決を図り、普及活動内容・成果の共有を図る。
- (2) 農業技術大学校カリキュラムとの連携（先進地農業者等体験学習等）による効率的な担い手育成を支援する（図3）。



図3 先進地農業者等体験学習（花き：キク）

- (3) 花き経営体（雇用・研修受入意向）への更なる就職就農支援を通じて担い手育成モデルの検討を行う。